

駅前通り地区

区画整理だより

第1号

発行人

茂原市役所 都市整備課

5	7	4	0	8
1	3	2	2	C
1	1	1	2	2
9	8	2	線	内
1	1	3		

発刊にあたって

連日変わりやすい天候が続いておりますが、区画整理関係権利者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、「茂原駅前通り地区」の土地区画整理事業も関係権利者の温かいご協力のお陰を持ちまして本年3月12日に事業計画決定の公告を行うことができ、これをもちまして本格的に事業に着手いたしました。

これまでにたくさんの方々にご尽力・ご理解をいただきまして、このことを心から感謝申し上げます。

茂原市は、言うまでもなく外房の中核都市として、今後もさらなる発展を目指し、市としても各種大型事業の推進に努めているわけですが、その中でも最重要事業として本事業が位置付けられており、本市の将来を左右するといっても過言ではない大きな事業として取り組んで

いるところであります。

皆様には、まだ直接的な工事であるとか、建物の移転といったようなものが始まっておりませんので、なかなか実感といったようなものが湧いてこないかと思われまます。

また、事業期間も相当長期にわたることから、皆様方との連絡・関係を深め、あるいは、現在、事業がどの程度進んでいるのか、その状況をお知らせすることや、地権者の皆様が疑問に思っていること等についてお答えし、お互いに理解を深めながらこの事業を進めたいと考えております。

そのようなわけで、区画整理の情報誌的な役割を果たせるようにこの「区画整理だより」(ORIHIME NEWS)を発行することといたしました。



なお、このニュースは市からの一方通行ではなく、皆様方からの意見・質問等も掲載し、まちづくりの一助としてたいと考えておりますので宜しくご協力の程お願い申し上げます。

都市整備課長 板倉

まちづくりの付添い木像

この事業は、茂原市の中心市街地にふさわしい街並み・商業空間となるように区画整理を通して商店街の再編成と住環境整備を図り「まち」の活性化を促そうと計画されたものです。

昭和61年度に建設大臣から認定された「中心市街地活性化計画」を基に、中心市街地の将来骨格の形成方針を示すと

①核の形成：都市軸の核及び都心商業軸における核を形成させる

②軸の形成：都市軸及び都心商業軸の整備を図る

こととなっており、茂原駅から市役所に至る長い商業軸上に核を形成させて、楽しく変化に富んだ「まち」の形成を図ろうと考えております。

そこで、これらの構想を基に「駅前通り地区」においては、次の基本的なコンセプトを設定してあります。

■地区全体コンセプト

・ハイセンスなファッションの街

■商店街から生活街へ

・路線型商店街から複合機能のある回遊街へ

・面として一体的な広がりのある街の活性化

・環境重視型の面的、回遊街の形成

特にこの区画整理にあたっては中心市街地ということもありこれまでの住宅中心の整備と異なり、地区の中央に歩行者系の大きな動線があり、これが商業の機軸をなしています。この動線を整備することにより、地区全体のグレードアップや住んでいる人々の利便性の向上にもつながると考えております。

恒編佳未後記

今年は、皇太子の御成婚から始まり、奥尻島・鹿児島島の災害等、善きにつけ悪しきにつけ、非常に様々な出来事がありました。

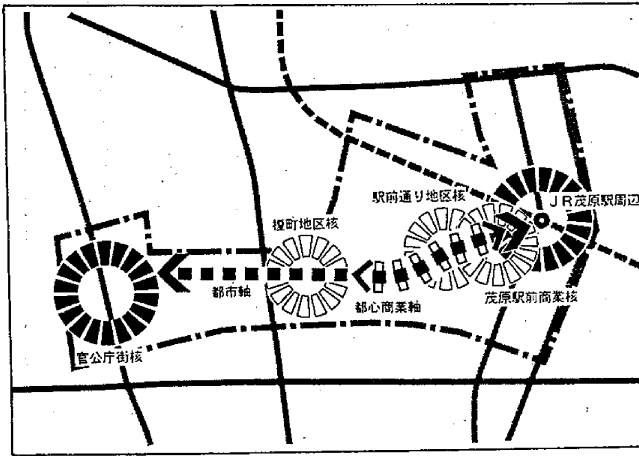
また一方で政治的にみても政権交代という歴史的な事実にも直面した年でもあり、冷夏の夏・異常気象とも言えるような天候を思った時に、地球環境は今後どうなることかと心配しました。

このような時代背景の中で、この区画整理事業もスタートを切ったわけで新たに到来する時代の中で、後世に誇れるような「まち」を造っていかねばと思うばかりです。

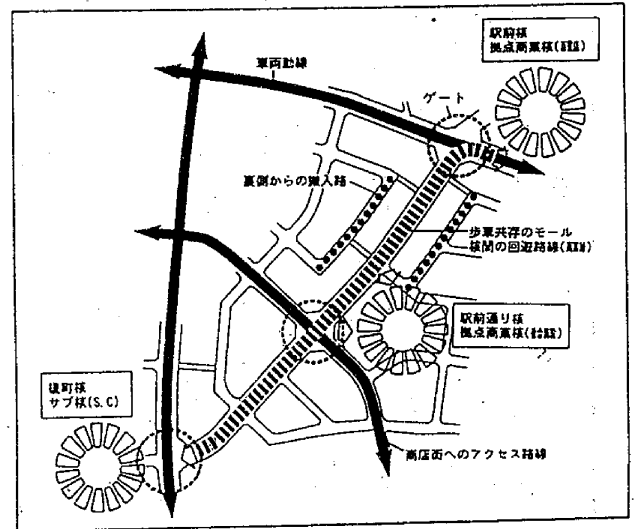
裏面も見て下さい！



■ 都市の骨格構造形成方針図



■ 駅前通り地区の骨格構成



■ まちづくりの推進体制について

- この区画整理については、茂原市施行ということで都市整備課の公共区画整理係が担当しております。

平成4年度から、この区画整理に伴って将来、建物が建築される際にどのように整備・誘導を図っていったらよいのか、みなさんに親しんでもらえるような商店街はどう造っていったらよいのか、また、この地区に住んでいる人にとって、さらに住みよくするにはどうしたらよいのかということを検討するため、「建築誘導計画検討委員会」という組織を設けて地元の代表の方々と市役所、さらにコンサルタントの助言をいただきながら検討を進めているところです。

現在のところ、この建築誘導計画検討委員会は、区画整理の中での建築物等の整備を主体として、検討を重ねておりますが、将来はもっと幅広い観点から、地区全体にかかわるまちづくりについて検討する「まちづくり協議会」（仮称）という組織をつくり、さまざまな住民の声といったものを反映させていったら、よりすばらしい「まち」ができていくのではないかと思います。

このような、体制を図式すると下図（案）のようになりますが、皆様も一度考えてみて下さい。

